

2018Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	葉山 美香（横浜ジュニアヨットクラブ）
大会名	The 2018 Optimist European Championship
開催地	Scheveningen, The Netherlands
大会期間	June 23~30, 2018

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	宿泊場所からシャトルバスで20分程の Scheveningen というハーバーで開催。普段は地元クラブのセーリング練習が行われているとの事。運河で繋がっている別のドッグには大小無数の帆船、クルーザーが停泊しており圧巻。その周りを囲むようにレストラン、スーパー、商業施設があり下町にも隣接していた。気温は16度~だったが、体感真冬並みであった。朝晩はフリースにダウンの装いにした。
宿泊場所	オランダの主要空港 Schiphol 空港から車で1時間程の Den Haag 郊外の広大な公園内にある Roompod という別荘地帯。 各国のシンガローが割り当てられ日本チームは監督、コーチ、選手4人の計6人が宿泊。同敷地内にサポーター宿を取り、選手宿とは徒歩10分程で行き来した。
大会のサポーターへの対応は	サポーターは宿泊のみならず全て自前で用意する必要があったが、ハーバーと往復するシャトルバスには乗せてもらう事が出来た。 ハーバーにはテントが設置されており、飲み物やサンドイッチなどの軽食を買う事が出来た。モニターが4台設置されておりラッキングは4フリート全てを見ることが出来た。 運営の方々は真面目で誠実な対応をしてくれた事が印象深い。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	各選手のスタミナの違いはあるが、ハードな海面で長時間のレースのため、選手によっては連続5日間のレースは限界だったと思う。選手によってはレース内容や満足できない成績に対するストレスがあったかも知れないが、ゆるい雰囲気メンバーに助けられ、精神的にはリセットしてリラックスできていたようだ。全員が何とか体調維持できたのは良かった。
サポーターとして気をつけたことは？	時差や緊張感から普段通りとはいかないまでも、来るだけ体調維持できるよう努めた。 大会側の食事が口に合わず食堂へ足が向かない選手が出てきたため宿で自炊したが、宿とハーバー間は公共の交通機関はなく、早朝出発で夜帰着のシャトルバスで選手と共に行動した為、時間的にも余裕がなく、満足できる料理の提供ができなかった。私に限れば、宿に残り、買い物や食事の支度、洗濯などに徹し、選手帰宅後は速やかに食事をさせ疲労度の高かった選手、コーチに十分な休息を取らせてあげたかったと反省している。その点でサポーターの任務が十分に果たせたかは疑問だ。 日本から米を持参したがオランダの蛇口から注がれる硬水では上手く炊かず、軟水を購入し対応した。

海外の選手を見て感じたことは？	日本と変わらない印象。 低年齢で無邪気に走り回る選手、ナーバスになって泣いている選手、スロープで忘れ物に気づき血相を変えてバースに戻ってくる選手。年長の選手は体格が良く落ち着いていた。 日本チームにハチマキ目当てで声を掛けてくる選手が多かった。
日本の選手を見て感じたことは？	受け身ではあったが意外と物おじせず堂々としていた。 ユニフォーム交換では、納得できないものは断ることが出来ていたし、冷静に交渉していた。 最後は積極的に目当ての選手に声を掛け写真に納まっていた。
Spare day の過ごし方は？	Spare day はなかったが、16 時頃に解散となった日があったので、ハーバー近くのスーパーやマリノショップに買い物へ出かけ3時間ほど過ごした。
日本チームとしての課題はありましたか	今回は大会自体もピリピリとした緊張感もなかったし、特に課題は感じられなかった。
JODAへの要望	エントリー費、追加費用等の海外送金時にJODA口座を使わせて頂けないか。 今回のヨーロッパ選手権の場合は、NT合宿よりも前に第一回目のエントリー費用の支払い期限があったことから、いったんJODAで立て替え払いをしてくれるのだが、そのため、第二回目以降の費用の請求もJODA名義宛にInvoiceが発行された。このJODA宛のInvoiceを持参して銀行窓口に行き振込み手続きをしようとしても、サポーターの名義口座からは振込みが認めてもらえなかったため大変苦労した。(いろいろな書類を持参してチャレンジしたが最近はおしくなっているようだ) 結局、請求書を使わず不自然な箇所にInvoice No.を入れることで振込みできたがハードルは高かった。 JODA口座からの振込みであればスムーズだと思う。
その他	サポートボートをシェアしたベルギーチームより、大会前にコーチ・選手の紹介映像が届き、現地では4選手それぞれにチョコレートを頂いた。
	各選手所属のクラブの皆さん、日常生活を営みながらJODAの仕事を引き受けて下さっている皆さん、今回のヨーロッパチームを渾身の力でコーチングして下さいました田中満さん、NT頑張ってください！と注目して下さいる皆さん、ありがとうございました。 そして我が家以外の有能なメンバー3家族の皆さんの大変なご活躍のおかげで、無事にヨーロッパ遠征ができました。心より感謝申し上げます。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会